



東海模型株式会社

EDI/EOS受注処理を自動化！早朝出社と属人化を解消し働き方改革へ
SuperCocktail、勘定奉行クラウド、SVF archiver、Dr.Sum等を連携し業務プロセスを一本化

東海模型株式会社は、模型・玩具の総合卸商社として30～40万点の商品を約500社と取引している。コロナ禍以降の取引拡大と人手不足が同時に進むなか、顧客ごとに形式が異なるEDI/EOS注文データの手作業変換や早朝出社、納品データ送信の残業、基幹システム(SuperCocktail)と会計システム(勘定奉行クラウド)間のマスター不整合が課題となっていた。そこでASTERIA Warpを導入し、EDI変換処理と各システム連携を自動化。SVF archiver、Dr.Sum、Exchange Onlineとも接続し、受注から出荷・会計・分析までを一気通貫で連携する基盤を構築した。現在は業務開始前に注文データの取り込みが完了する運用を実現。属人化の解消と業務の確実性向上に加え、早朝出社や残業の削減にもつながっている。

導入背景

- 発注データ取り込みのため早朝出社が常態化し、特定担当者への依存が進んでいた。夕方にも納品データ送信対応で残業が必須だった
- 基幹システムと他システム連携を手作業で行っており、業務負荷の増大や入力ミスが生じていた
- 基幹と会計システム間でマスター更新のタイミングがずれ、更新漏れによるインポートエラーやデータ不整合が発生していた

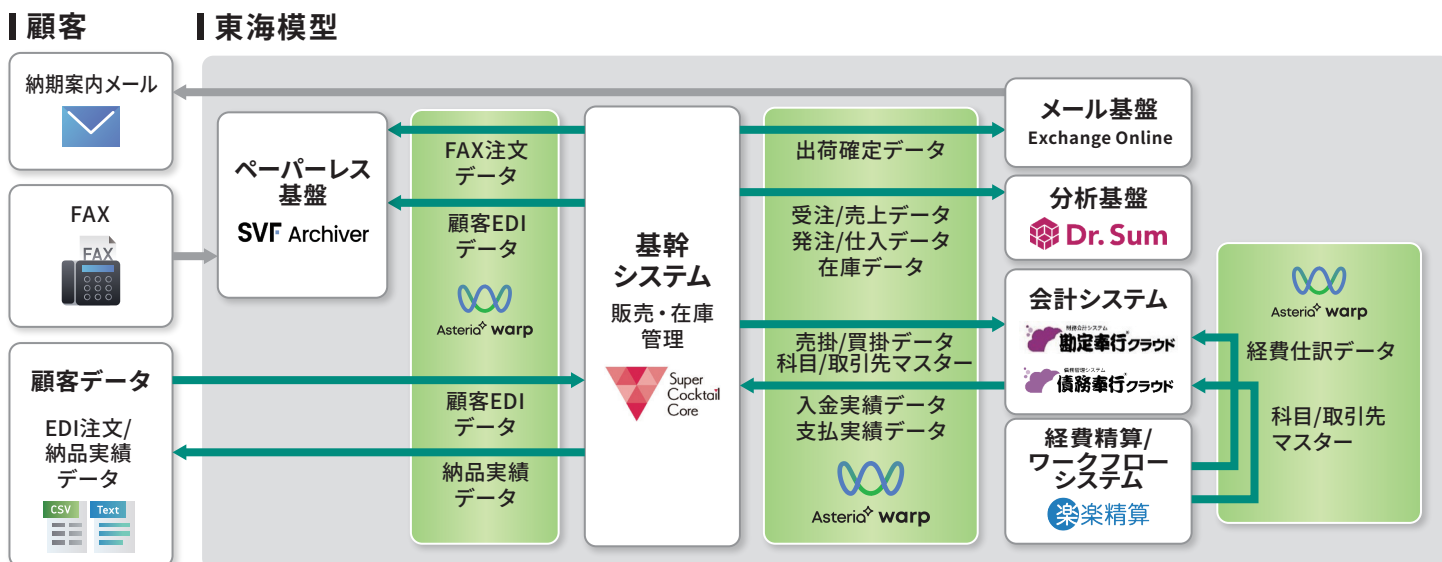
選定ポイント

- 取引先ごとに異なるEDI/EOSデータを自動変換し、既存の基幹システムへそのまま連携できる
- 純国産かつ国内シェアNo.1であり、取引先追加やデータレイアウト変更にも柔軟に対応でき、短期間で改善効果を見込める
- 導入パートナーであるトーテックアメニティ株式会社による、導入から運用までの伴走支援体制が整っている

効果

- データ変換を自動化し、早朝出社と属人化を解消。納品データ送信は作業時間が1時間から5分に短縮され、残業時間がゼロに
- システム間の自動連携により定型業務の手作業を削減し、業務の確実性と処理効率が向上した
- 基幹マスター変更を会計システムへ自動反映する仕組みを構築し、不整合を防止。メンテナンス工数も大幅に削減

システム概要



ユーザーのひと言



さまざまな業務をASTERIA Warpでつなぐことで、一度整えたデータがそのまま各システムに流れる安心感を得られました。以前は個別対応が多く確認作業に追われていましたが、現在は処理状況が可視化され、トラブル時の対応も迅速です。限られた人員でも安定運用が可能となり、働き方改革や経理業務の精度向上、決算早期化にもつながっています。開発は2カ月で完了し、今後の取引拡大や新形式EDI/EOSにも柔軟に対応できると感じています。

東海模型株式会社 トイホビー本部 商品部 マネージャー 片山 廉 様

User Profile



所在地：愛知県名古屋市区比良4丁目1番地

会社概要：模型・玩具の総合卸商社

業種：卸売業・小売業

URL：https://www.tokaimokei.co.jp/